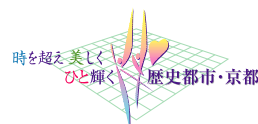


きょうと 京図ものがたり

京都市図書館情報誌

vol.12

平成18年3月発行



夢ふくらむ図書館に



読み聞かせに夢中の子どもたち

特集 本は友だち
「子ども読書の日」

目次

- 2 インタビュー
京都市保育園連盟副理事長 西川國代さん
京都市私立幼稚園協会会長 藤田寿男さん
読み聞かせで育てる子どもの
“ところ”
- 3 図書館小特集
便利ですよ! インターネット予約
- 4 特集
本は友だち 「子ども読書の日」
- 6 京都市図書館紹介
コミュニティプラザ 深草図書館
- 6 図書館コラム
児童図書室雑感
- 7 京都市図書館紹介
中央図書館
- 7 お知らせ
U.C.Libニュース
- 8 利用者の声
テーマ:「子ども時代の思い出の一冊」
- 8 編集後記
「蘇る一冊」

読み聞かせで育てる子どもの“こころ”

4月23日は「子ども読書の日」です。これを記念して、今号で特集していますとおり、京都市図書館と「子どもの読書活動推進のための懇談会」は、毎年さまざまな催しを行っています。今回は、いる2つの団体にお話を伺いました。

A2

一日のおおかたを、保育園で生活する子どもたちにとっては、保育士と心をつなぐ絵本の読み聞かせは、日常保育の上では、欠かせないものです。乳幼児の各保育室には、絵本コーナーを設け子ども自らが絵本に心を寄せ親しめるように心掛けております。また、保護者の方に向けては、参観日等を通して、絵本の読み聞かせの大切さをお話しさせていただく機会を持っております。

A1



京都市保育園連盟副理事長

西川國代さん

幼児期は、耳の時代と言われていると思います。絵本の読み聞かせを通して、耳から人間らしい豊かな心のこもった言葉をどれくらい聞くことができるかが、幼児期の言語教育、また言語体験にもっとも影響を及ぼし、人間の言葉の体験の基礎をつくる上でも大切なものと捉えております。いま、急速に「化が進む中、言葉を聞き、会話を交わすということが乏しくなりつつあることから、幼児期の言語体験、耳体験の大切さを覚えます。

Q1 幼児期における読書が子どもたちにどのような影響を与えとお考えですか？

Q2 読書に関して、日頃、園（所）内でどのような取り組みをしておられますか？

A2

自ら絵本に興味を持つことと、読み聞かせを大切にしたいと考えています。表紙が見える絵本棚に毎月先生の選んだ絵本を3冊程度並べて子どもたちの関心を高め、週末には好きな絵本を一冊持ち帰りができるようにしています。また週に一度の降園前のひと時、各クラスの保護者にお願ひしてクラスの子どもたちの前で絵本を読んでもらっており、いつもの先生とはひと味違って読み手にも聞き手にも大好評です。

A1



京都市私立幼稚園協会会長

藤田寿男さん

幼児期に与える文字はまだ記号の域を出ず、読書というよりは絵を見てイメージを拡げることが楽しいです。でも子どもにとって嬉しいのは、一人で絵本をながめるより、大好きな人から読んで聞かせてもらうことです。お話の筋はとくに分かっていないけれども、何度も何度も繰り返し聞いて、やっぱりそうなんだと安心しながら、場面と言葉の関係に理解を深めていきます。

便利ですよ!

インターネット予約

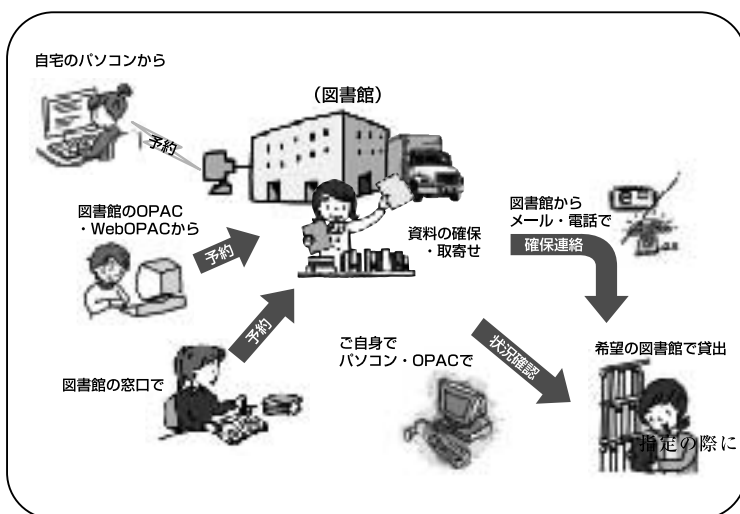
今年の1月から、インターネット予約サービスを始めています。

- 自宅からインターネットを使って24時間いつでも予約ができます。
 - 自分の「貸出状況」や「予約状況」をインターネットで確認できます。
 - 予約の本が用意できたら、E-mailでお知らせすることもできます。
- (サービスの利用には、図書館窓口でのパスワードの発行が必要です。)



1万人を突破!

既に多くの方に
ご利用いただいています。
予約申込みは去年の1.5倍!

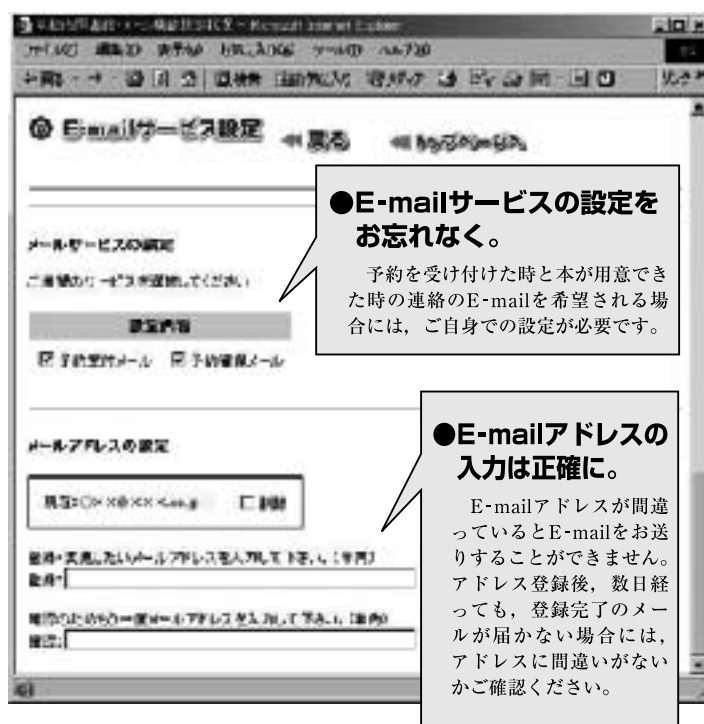
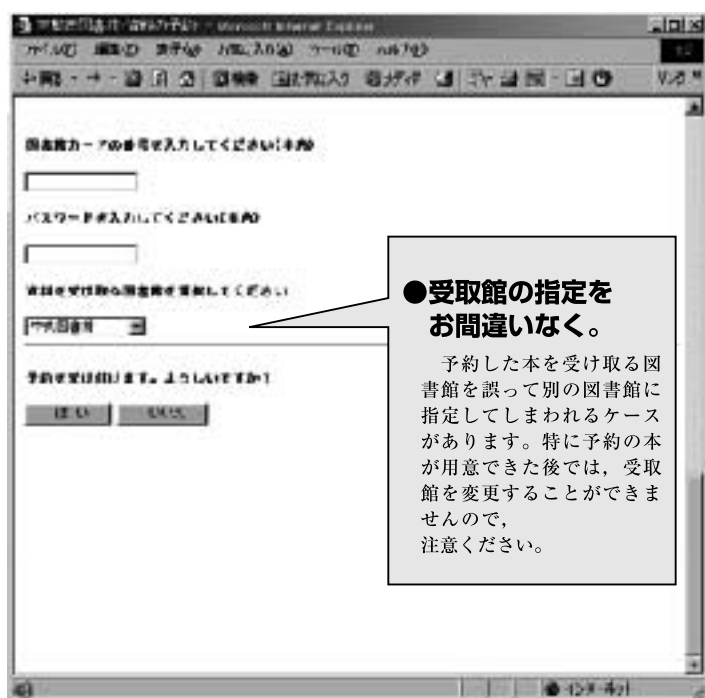


パスワードの発行数(3月10日現在) 10,034件

予約申込み件数

・今年(1・2月)	94,493件
・去年同期	59,998件

インターネット予約をご利用いただいている方へ



本は友だち

「子ども読書の日」
テレビ、ゲーム、インターネット…子どもたちの興味をひくものは世にあふれかえっています。でも、読書の楽しさも奥深いもの。その楽しさを知ってもらいたい！ 子どもたちが読書に親しむきっかけになれば…そんな思いから、4月23日の「子ども読書の日」を記念し、4月22日～29日の期間中、すべての京都市図書館で、「子ども読書の日」記念事業を開催します。楽しい催しがたくさん予定されていますので、ぜひ、ご家族でご来場ください。

「子ども読書の日」記念講演会



講師・長谷川義史さん

絵本作家・長谷川義史さんを招いて、子ども読書についての講演会を開催します。どなたでもご参加いただけます。

- ・日 時：4月23日(日) 午後1時30分～
- ・会 場：京都市生涯学習総合センター
(京都アスニー)
3階 第8研修室 定員200名(先着)
託児(満1歳～就学前まで) 希望は4月14日までに中央図書館まで要予約

一日中央図書館長・永田萌さん



一日中央図書館長・永田萌さん

幅広いファン層を持つ絵本作家・永田萌さんが、1日だけ中央図書館長に！

- ・日 時：4月29日(土)
 - ①午後1時30分 たちの絵や文章で表現
京都市子ども読書活動
優秀実践団体(者)表彰式(永田萌さんより贈呈)
 - ②午後2時～
永田萌さんによる講演と読み聞かせ
 - ③午後3時～
永田萌さんと子どもたちとの交流会
- ・会 場：京都市生涯学習総合センター
(京都アスニー)
4階ホール 定員400名(先着)
託児(満1歳～就学前まで) 希望は4月20日までに中央図書館まで要予約

絵本原画展



長谷川義史さんの絵本「いろはにほへと」の原画を展示します。に見られるこの機会をお見逃しなく。

- ・日 時：4月22日(土)～29日(土)
午前10時～午後5時
(4月25日(火)を除く)
- ・会 場：京都市生涯学習総合センター
(京都アスニー)
1階 展示ホール

本のもり・あそびのコーナー

美しい原画を間近

おすすめの本を年代別に選定したブックリスト「本のもり」。この「本のもり」に載せている本や、永田萌さん、長谷川義史さんの書籍を、実物展示・販売します。ぜひお立ち寄りください。

- ・日 時：4月22日(土)～29日(土)
午前10時～午後5時
(4月25日(火)を除く)
- ・会 場：京都市生涯学習総合センター
(京都アスニー) 1階 展示ホール
販売は4月22・23・29日のみです



読書えはがき展

市内の保育園、幼稚園、小・中・総合養護学校から応募のあった「読書えはがき」を展示します。子どもが読書の感動を、次はあなたに。

- ・日 時：4月22日(土)～29日(土)
午前10時～午後5時
(各展示場所の休館日を除く)
- ・会 場：京都市生涯学習総合センター
(京都アスニー)、各京都市図書館、こどもみらい館



おたのしみ会など

小・中学生やPTA、子ども文庫の方々のご協力のもと、絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しい行事を各京都市図書館で行います。詳細はチラシやホームページでご確認ください。

- <主催>
- ・京都市教育委員会
 - ・財団法人 京都市生涯学習振興財団
 - ・子どもの読書活動推進のための懇談会

- 京都市PTA連絡協議会
- 京都市子ども文庫連絡会
- 京都市小学校図書館研究会
- 京都市立中学校教育研究会図書館教育部会
- 京都府書店商業組合
- 京都市私立幼稚園協会
- 京都市保育園連盟
- 京都市図書館

■お問合せ先
京都市中央図書館
TEL 075 (802) 3133

※事業の写真は平成17年度のものです。

コミュニティプラザ

深草図書館

コミュニティプラザ深草図書館は、平成15年7月20日に京都市と番目の図書館として開館しました。京都市立深草小学校の図書室を地域開放型図書館として併用し、その業務の一部を地域ボランティアの皆さんにお手伝いいただくなど、全国的にもきわめて珍しい図書館です。

館内は二足制になっていて、靴を脱いで入館していただくため、ゆっくりとくつろいだ気分で読書を楽しめますし、また幼児コーナーではお子さんと一緒にフロアーに座りながら絵本を読むこともできます。

雑誌も40数種を揃えており、新刊が雑誌コーナーに並ぶのを楽しみに待つておられる方もいらっしゃいます。もともと本館は「パートナーシップで創り上げていく新しいかたちの図書館」として、地域の皆さんとの緊密な連携のもとに種々の取組みを実施しております。地域の代表者で組織された運営委員会では図書館運営について貴重なご意見をちょうだいしておりますし、地域のボランティアの方々には、日常業務のほかに子どもたちへの読み聞かせなどもしていただいております。

深草小学校の校時表や曜日別の授業計画との関係で、授業中の利用は

できませんが、土曜・日曜は午前10時から午後4時まで開館しておりますし、平日の水曜・木曜は午後4時から午後7時まで開館しています。深草・藤森両中学校区の地域に根ざした図書館として、開館以来地域社会の皆様

の積極的な利用をいただき、平成17年12月には登録者が3,460人になりました。本館が求める

めの図書を所蔵していない場合、他の京都市図書館から取り寄せてお借りいただくこともできます。

深草図書館は京都市の図書館の一員として地域の方々に親しまれるよう日々努力しています。



開館日時	水・木曜日 16時～19時 土・日曜日 10時～16時
貸出でき る方	深草・藤森両中学校区にお住まいの方

11 図書館コラム

児童図書室雑感

こ 最近、土曜日や日曜日に、靴を脱いで床に座って本が読めるコーナーで、お父さんらしい人が小さな子どもを膝に抱っこして絵本を読んでいる姿を見かけることが多くなり、ほほえましく嬉しくなります。子どもと一緒に過ごしているお母さんと交替で、仕事が休みの日は子どもの遊び相手をと、図書館に来られたのかもしれない。あるテレビ番組で、お父さんが子どもに絵本を読み聞かせすることが増えていると紹介されたり、絵本の情報のホームページでも、お父さんの取組が掲載されています。

核家族化、都会化し、いろんな人が子どもに語りかけたり、外に出て自然の中で興味のわいたことを話題にしたりしにくい現代で、絵本を通して、子どもと親密な楽しいコミュニケーションの時間を持つことは、お母さんだけでなく、お父さんや身近な人にとっても、子どもの心を豊かにし、子育てを楽しむ手段のほうです。それに絵本は、読んでいる大人が絵本に涙して、子どもに「どうしたの?」と聞かれることもあるほど、あなどれないのです。

4月23日は「子ども読書の日」です。京都市図書館は、各館で催しをします。読書の楽しさを知っていただけたらと思います。本は主人公と一体になって、ハラハラし、感動し、寝るのもおしくなる時があります。私が小学生の時、「大草原の小さな家」シリーズはテレビでも放映していましたが、本の方を夢中になって読んだ記憶があります。図書館では、子どもの本や絵本を親子で楽しめますので、小さな子どもさんの場合、保護者の方と一緒に来館されてはいかがでしょうか。

中央図書館

すべての人の読書欲にお応えしたい

■京都市の中核図書館

京都市図書館の中核を担う中央図書館は、千本丸太町から西へ300m、丸太町七本松に位置します。市内の京都市図書館を結ぶ「京・ライブラリーネット」の拠点であり、市図書館最大の蔵書数を誇る生涯学習施設であると同時に、上京区・中京区の地域図書館としての役割も兼ね備えています。

■「京」の図書館としての自負

日本人が特別に思う街・京都。毎日多くの方が京都にまつわる情報を求めて来館されます。「京都らしさ」、「京都ならではの」的確な情報を提供するために、参考図書室内に「京都コーナー」を設け、そのニーズにお応えしています。

■子ども読書のすすめ

今号の特集にもありますとおり、

4月23日は「子ども読書の日」です。この日を中心に、京都市図書館全館でさまざまな催しが予定されていますが、大切なのは、読書を「続ける」ことです。

中央図書館では、毎月第2・4土曜日午後2時30分から「おたのしみ会」を開き、絵本の読み聞かせや紙芝居等をとおして、楽しく親しみやすいように、いろいろな方法で本や物語の紹介を行っています。また、毎月第3木曜日前二時から、赤ちゃんとその保護者を対象に絵

本の読み聞かせを行っています。こうした活動が評価され、平成17年度子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞しました。

■老若男女、すべての人に読書を

図書館を利用される方は本当にさまざまです。少しでもご利用しやすいよう、休日や夜間も開館（平日は午後8時30分まで、土日祝日は午後5時まで）しています。また、身体に障害があり、来館が困難な方には在宅貸出のサービスを行っており、視覚障害のある方には録音図書の貸出やボランティアによる対面朗読サービスを実施しています。更に、小さな字は読みにくいという方のために、館内には大活字図書や拡大読書機を設置しています。

生涯学習に取り組まれる方が増加する中、図書館の果たすべき役割も多様化、拡大化しています。皆さまのご希望とご期待に応えるべく、職員一同、これからも日々励んで参りますので、ご利用を心よりお待ちしております。



<U.C.Lib ニュース②>

○右京中央図書館（仮称）の平成19年度開館に向けて、図書館が入る再開発施設（右京区総合庁舎）の建設工事が始まっています。

現地は地下鉄工事とともに仮囲いで囲まれています。今はまだ、どんな雰囲気になるのかわかりにくいですが、工事が完了した姿を想像すると、わくわくしてきます。

今後も工事が進み建物が建ちあがっていく様子をお届けします。

なお、右京区役所の1階ロビーで再開発施設の立体模型を展示しています。完成後の回り一帯の全体像がひと目でわかりますので、ぜひ一度ご覧下さい。

U.C.Lib...Ukyo Central Library
右京中央図書館（仮称）



三条通から見た工事現場



テーマ

「子ども時代の思い出の一冊」

●山科区 彌榮 浩樹さん(会社員)

『チョコレート工場の秘密』。今ではあまりにも有名になった本だけれど、30年以上前、小学3年生だった僕が、町の図書館の本棚から何気なく手にとった本だった。家に帰り、読み始め、驚いた。「こんなに面白い本が世の中にあっただのか！」特に、貧しいチャーリーが、世界に5つしかない当たりのチョコレートに出会う場面は忘れられない。物語の中味だけでなく、本を手にする冬の道の様子や、ひとりで留守番をしながら読んでいた部屋の雰囲気までも、今でも思い出す。

●北区 西川 あきのさん(アルバイト)

子ども時代に読んで一番心に残っている物語は、『ナルニア国物語』シリーズです。私にとっては初めて読んだ長編だったと思います。一話ずつの完結した物語でありながら全7巻を通して一つの話になっているというスタイルに魅了されました。物語の中で一緒に冒険した登場人物と、また違うお話で出会えるのがとても嬉しく新鮮に感じました。物語にのめり込むように読んで最初の1冊と言えるでしょう。

●下京区 吉川 文子さん(無職)

私が子ども時代に読んで一番忘れられない一冊は、モンゴメリーの『赤毛のアン』です。男の子を欲しがっていた家庭にアンが期待に胸をふくらませて行く所から始まりました。なかでも一番は、気にしていた赤毛を染めて、もっとひどい緑色になった所です。小母さんの留守の間にしたのですが、それを見た小母さんが赤毛を気にしてはいけないのよと諭し、赤毛もアンの個性だからと言った所です。赤毛というだけでいじめられていたのですが、その後、成長していくシリーズがまた楽しいです。

●伏見区 岩崎 早苗さん(無職)

『大五郎は天使のはねをつけた』は、初めて小学校の図書館で借りた本です。奇形の小猿が作者の家族愛に支えられて生きた、約2年間のフォトエッセイです。手足の無い姿に衝撃を受けながらも、家族と共に力強く生きていたこと、その目がとても澄んでいたことが印象的でした。思えばこの時本から受けた感動が、その後の図書館通いのきっかけとなりました。現在は2才の息子と絵本をよく借りに行きます。息子も将来、そんな本に出会って欲しいと願っています。

●伏見区 山本 京子さん(無職)

小学5年生の時に読んだ『赤毛のアン』は、孤児だったアンがマシユウとマリラに引きとられ、心優しい娘に成長していく過程を描いた物語です。空想が大好きでお喋りがとても上手なアンが起こす騒動は、ハラハラさせられました。引つ込み思案だった私には痛快でした。ダイアナとの友情は美しく、ギルバートとの仲も気になる所。最後まで夢中になって読んだこの本は、読書が大好きになるきっかけとなった思い出の一冊です。

編集後記

「蘇る一冊」

人生を振り返ったとき、記憶に蘇る本というものは、子ども時代だけでなく大人になっても、作者が紡ぎだした物語の世界に人を引き戻すようです。今回、「利用者の声」でテーマにした「子ども時代の思い出の一冊」に、『赤毛のアン』が複数挙がりましたが、思い出す人ごとに、その蘇る世界が異なるのも、読書の醍醐味のように思います。

今号は、幼児期から本に慣れ親しんでもらうべく、図書館や関係団体の取組のご紹介を重点に編集しております。4月の「子ども読書の日」記念事業の期間中は、さまざまな催しが行われますので、ぜひ一度、足を運んでみてくださいね。その人にとって、大切な一冊を求め、読書の旅は始まるのかも考えると、「本は友だち」は子どもだけでなく大人にも言える関係かもしれません。その皆様にお待ちいただいている予約の多い本の寄贈ご協力を、前号の「図書館コラム」でお願いしたところ、予想を上回るお申し出をいただきました。ご協力いただきました本は、図書館の蔵書として市民の皆様提供させていただきます。この場をお借りし、篤くお礼申し上げます。ありがとうございました。

京図ものがたり vol.12

発行
平成18年3月

編集・発行

(財)京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3133
<http://www.kyotocitylib.jp/>
<http://www.kyotocitylib.jp/>

